

●小論文〈音楽史学コース、音楽美学・社会学コース、日本音楽文化コース〉(一般入試)〔後期日程〕

同志社女子大 '99

⑥ 重要な音楽会には必ずと言ってよいほど批評家が居合わせ、翌日の新聞などに批評が掲載されることになるのが普通である。しかし、批評家自身はピアノやヴァイオリンの名手であるとは限らず、また、仮に何らかの楽器の演奏に長けていたとしても、すべての楽器をこなすことは困難であるため、通常は自分がまったく弾くことのできない楽器の演奏について批評せざるを得ない。このような批評家の存在について、公正な判断を期待できないとする見方と、批評と演奏とはまったく違った次元の行為であるため、批評家がみずから名演奏家である必要性はないとする立場もあるであろう。あなたはどのような見解をもっているか。あなたの考えを700字以上900字以内にまとめなさい。